

令和7年度 千厩高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「居心地のよい学校」「ちょっどいい学校」づくりをめざして～

千厩高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

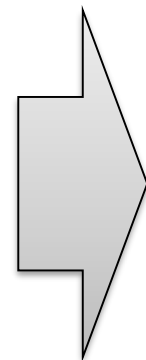
1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 時間外在校等時間が月100時間以上の職員
R4年度:0人、R5年度:0人、R6年度:0人(目標が達成できている現状)
- ◆ 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を除く)が年間360時間以上の職員の割合 R5年度:17% R6年度:13%(目標が達成されなかった)
- ◆ 年間年次取得80時間未満の職員の割合
R5年:13% R6年度:14%(6人が取得可能時間数の半分取得不可)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・終了時刻を意識せず、時間外勤務は避けられないと考えている面がある。
 - ・これまで実施してきた業務を同じように継続しなければならないと認識している。
- 管理職のマネジメント
 - ・業務の見直しと削減の推進
(簡易起案、会議時間短縮、朝会時の情報共有 等)
 - ・年度途中でも変更可能、改善を重ねる



2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 時間外在校等時間が月80時間以上の職員ゼロ
- 時間外在校等時間が年間360時間以上の職員ゼロ(部活動含む)
- 年間年次取得80時間未満の職員ゼロ

【目指す姿】

- 職員が、「居心地のよい学校」「ちょっどいい学校」と感じている。
- お互い様、お蔭様、ありがたいの心で、仕事を任せたり、頼まれやすい職場環境となっている
- フェア精神とユーモアが飛びかう笑顔あふれる職場となっている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職が個々の職員の健康状態や働き方を把握・観察し、積極的に声を掛け、健康確保の観点から休暇を促し、笑いを提供します。 ・健康状態や通勤時間に配慮し、適材適所を考慮した業務分担を図ります。 ・職員が孤立しない同僚性と心理的安全性が保たれた快適な職場環境を作ります。
(2)	学校における業務改善の推進	・適切な教育課程および教育活動について検討し、シンプルでやりがいのある業務を柱にすえた、働きやすい環境を整えます。 ・管理職が積極的に業務改善案を提示します(職員会議、朝会等で)。 ・業務の軽重を確認の上、整理し、これまでの業務を積極的に削減します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・教員が本来すべき業務について再確認し、それ以外の業務を整理します。 ・勤務時間外や休日の部活動については、計画的かつ効率的に短時間活動を推進します。
令和6年度重点取組事項		・令和7年度からは、さらに大胆な業務削減とシンプルな業務確立を推進します。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPに掲載するとともに、朝会や会議等を活用して教職員にも周知します。
- ・PTA総会や研修会、メール、面会を通じて、地域の方々や保護者に対してプランの内容を説明します。